

## 「キッズ建築プロジェクト in クローバー通り」を開催しました！

**子供と描く未来の街  
キッズ建築プロジェクト**

「クローバー通りにあったらいいな、こんな場所」

「クローバー通りに、あなたのひらめきを！  
高校生と一緒に、考えませんか？」

1 土地を調べる  
2 アイデアを出す  
3 形にする

**プロジェクト内容**

※本イベントは、事前にアイデアのリスト作品による応募と、模型制作・審査のイベントへの参加が必要です。

**事前応募**

7/31(木) 8/5(火) 9/5(金) 9/23(火・祝) 9:00~15:00

参加登録 → 事前アイデア交流会 → イラスト作品の応募 → 模型を作る → 審査をする → 結果発表

会場／静岡県立天竜高等学校

**対象**

小学校5年生～中学3年生  
募集人数／10名程度（先着順）  
参加費／無料

**審査基準**

今回の建築コンペは「こんな場所をつくりたい！」というアイデアを出す大会です。  
考えた場所がテーマに沿っているか  
・どんなことを工夫したか  
・地域とのつながり、ニーズ  
といった部分を主に審査する予定です。

審査員について

現時点では、審査員が確定しておりません。  
アイデアコンペを手掛けられている方や、子供との関わりが多い建築家の方、または大学の教授の方にお声かけしています。  
審査員の方が決まり次第、詳細をメールにて送信します。

**事前学習・テーマ**

※本プロジェクトに参加するには、事前にアイデア作品を作成する必要があります。

○ 今回のテーマは「クローバー通りにあったらいいな、こんな場所」  
あなたは、「こんな場所があったらいいな」と思う経験が一度はあったのではないかでしょうか。  
では、クローバー通りを通して天竜区をより良くしたいときあなたならどんな場所がほしいと思いますか？  
そんなあなたの思う場所を提案してください。

○ 敷地  
浜松市天竜区二俣町 クローバー通り商店街（右写真赤枠内）赤枠内の道路に面するどこかに建ててみたいとおもいます。

○ 規模・構造について  
制限はありません。自由に考えてください。

○ 提出方法  
応募登録をしていただいたメールアドレスに、PDF形式の応募用紙をお送りします。  
応募用紙（A4サイズ）に、手書きまたはデジタルでアイデア作品を作成してください。  
印刷して郵送、またはメールに添付して9月5日（金）までに提出してください。（必着）  
郵 送：〒431-3313 浜松市天竜区二俣町二俣601 静岡県立天竜高等学校 松下 健太  
メール：172123146@neg.edu.pref.shizuoka.jp 松下 健太

○ 事前アイデア交流会  
Googleフォームにて希望された方は、事前アイデア交流会に参加することができます。  
コメントに関する詳しい説明、当日の企画、アイデアに関するアドバイスを主に行います。  
開催日時／8月5日（火） 時間／13:00~14:00 場所／静岡県立天竜高等学校  
事前アイデア交流会の詳細は、Googleフォームでお答えしたメールに送信します。

○ 作品の概要  
紙のサイズ/A4（カラー可）  
応募用紙にタイトル・作品図面・イラストを記入してください。画像等は自由です。

○ アイデアの例  
・自分が遊ぶ公園やコミュニケーションの提案  
・本を読んだり、勉強ができるスペースの提案  
・お年寄りなども一緒に過ごせる、多世代交流の場の提案  
・天竜区の特産品（木材、お茶など）を展示・販売するショップの提案

○ 問い合わせ先  
TEL／053-925-3139（担当教諭：後藤）  
MAIL／172123146@neg.edu.pref.shizuoka.jp  
(建築系3年生: 松下)

【主催】 静岡県立天竜高等学校 建築系3年 松下 健太、持田 基晴、村松 拓真 【後援】 ドリーム・プロジェクト2025（静岡県教育委員会）

今回の「キッズ建築プロジェクト in クローバー通り」は、天竜高校の近くにあるクローバー通りを若い世代が考えて、より活性化しようとするプロジェクトです。本校の建築系列の学びを生かした”地域”を活性化させる建物を考案する”建築”の要素、アイデア豊富な小中学生を対象とし、継承や教育還元の”次世代育成”の要素、プロの建築家をお招きしてコンペティションの機能をもたせることで一緒に審査をする経験を積む”建築家育成”的要素が詰まった”天竜高校らしさ”溢れる企画です。

6月下旬に採用が決定し、まずは参加者募集の周知活動のために近隣の小中学校や天竜区役所、天竜商工会を生徒自ら回りました。



↑ 天竜区役所



↑ 二俣小学校

8月には参加者にご来校いただき、事前アイデア交流会を実施しました。主催となる高校生が小中学生と一緒に考え、良いアイデアを形にする手伝いをさせてもらいました。最初はお互い緊張していましたが、地域や建築に対する思いを共有し合い徐々に交流が深まりました。



同月、審査員長をお願いしたプロの建築家である磐田市にご在住の渡辺隆さんにご来校いただき、このプロジェクトに対する思いや進め方をお伝えし、多くのアドバイスをいただきました。生徒たちは渡辺さんの優しい人柄に惹かれ、様々な相談事を解決してもらい、とても安心した表情をしていました。



9月には小中学生からアイデアが提出され、それらを基に再度方向性を検討しました。渡辺隆設計事務所にインターンで来ていた静岡理工科大学の生徒からも意見をもらいながら、協議を進めました。建築に携わる人々との交流は、建築家を目指す3人にとって大きな刺激となりました。渡辺隆さんは、「建築だけでなくクローバー通りという街の中で考えることや模型まで作ることは大学の卒業制作のようであり、建築の視野を広げることまで考えている」と評価していただき、生徒の励みになりました。



当日を迎えるまでにクローバー通りの模型を完成させるべく、運営の3人だけでなく仲間への思いや地域への思いで集まった建築系列やクラスの生徒の手伝いを借りながら、毎日放課後残って作成を続けました。生徒たちからは「これが青春だね！」という楽しそうな声が聞こえてきました。



そして、当日は参加者の子どもたちと出したアイデアを基に模型作りをしました。それぞれの個性を出しながら、建築系列の生徒や保護者の方と協力してとても良いものが出来上がりました。最優秀賞には清龍中2年の蒔田さんの作品が選ばれ、嬉しそうな表情を見せてくれました。運営に携わった生徒たちも、参加者の皆様にも笑顔が多くみられ、プロジェクトは大成功に終わりました。すべての関係者の皆様、本当にありがとうございました。



↑開会式



↑模型作り材料の説明



↑渡辺隆設計事務所の模型紹介





↑サンプル模型作り



↑実際の模型作り



↑完成した模型をクローバー通りに建てて、それぞれのコンセプトを説明しました。



↑ 1つ1つの作品を審査



↑全員で記念写真

尚、作成したクローバー通りの模型と参加者の作品は10月下旬から約1か月程度クローバー通りに展示していただけすることになりました。さらに10/19(土)にプレ葉ウォーク浜北で行われる「2025ザ・山フェス」で運営に携わった3人が14時から登壇し、作成した模型を紹介・展示させていただきます。

※このドリーム・プロジェクトは、公益財団法人はごろも教育研究奨励会から助成を受けて実施しています。